

令和4年度(2022年度) 健康くまもと21推進会議 第2回 歯科保健部会 議事録要旨

開催日時:令和4年8月26日(金)14:00~16:00

開催方法:オンライン(Teams)または会場

開催会場:ウェルパルクまもと3階会議室

出席委員(16名)

片山 美智子、岸 知子、工藤 壽子、佐藤 成美、田上 敬祐、永田 智恵子、
永野 智子、中村 好郎、中山 秀樹、濱田 泰之、平川 恵子、藤高 ちよ、
松本 健次、三浦 弘文、宮本 格尚、山田 浩一 (五十音順・敬称略)

審議内容 議題1 「熊本市子どものむし歯対策について」

議題2 第3次熊本市歯科保健基本計画の進捗状況について

議題3 第3次熊本市歯科保健基本計画の最終評価および次期計画策定のスケジュールについて

議事(要旨)

【議事進行】 部会長

第1回の部会で審議を行った子どものむし歯対策についての追加審議と第3次熊本市歯科保健基本計画について、第3次熊本市歯科保健基本計画の最終評価および次期計画策定のスケジュールについて審議を行う。

〈事務局〉

議題1「熊本市の子どものむし歯対策」について今後の方向性、取組み等を説明。

〈委員〉

啓発用リーフレットは設置するだけでなく、できれば手渡しが見たい。

フッ化物塗布は現在行っている1歳6か月児だけでなく、1歳児、2歳児というように途切れない事業展開を行っていただきたい。

フッ化物洗口に関してはコロナで実施が難しい面もあると思うが、学校保健委員会などで学校歯科医などの専門家が説明する場を設けて推進してはどうか。

むし歯の原因として色々分析されているが、何が原因か明確化していく必要がある。

今後の取り組みの方向性として資料に挙げられているように進めれば結果は出ると思う。

《委員》

前回の会議でも提案があったようにむし歯予防にはおやつとの与え方が重要。資料のステファンカーブが載っている、子どものおやつ資料はとても良いと思う。ただし、初めてパッと見てもわかりにくいので、資料の手渡しや説明が必要。啓発に協力したい。

フッ化物塗布事業化への取組みは、費用負担など内容が決まれば、周知をお願いします。
今後の取り組みの方向性は資料どおり進めるとよいと思う。

《委員》

妊婦健診時等に喫煙とむし歯の関連性の周知ができるとよいと思う。喫煙とむし歯の関係について伺いたい。

《委員》

喫煙すると唾液が減ることによりむし歯になりやすいということはあると思われるが、喫煙との関係が明らかにされているのは歯周病である。

〈事務局〉

喫煙者の親の子どもにむし歯が多いという報告がある。むし歯と喫煙は統計的に関連性が強い、という報告がみられている。

《委員》

フッ化物塗布等の事業を進めていく過程で予算要求が必要になると思うが、それには確固たる理由の提示が必要であろうと思われる。根拠を打ち出して取り組んでほしい。

おやつ資料「食べたら歯みがき」の記載に、「うがい」も加えるとよいのではと思う。
今後の取り組みの方向性はこれでよいと思う。

《委員》

食べてからすぐ歯みがきすると歯が削れるということを聞いたことがあるが、そういったことはあるのか。

《委員》

食後 20～30 分おいて再石灰化させてから磨いた方がよいという説と、すぐに磨いて問題ないという説がある。歯が削れるといっても問題になるような量が削れるわけではない。30 分待つことで磨き忘れてしまっただけでは本末転倒になる。

〈事務局〉

日本小児歯科学会から食後に時間をおかねばならないという根拠はないとの見解が示されていた。食後にいつまでも汚れを残さないという考え方でよいと思われる。

《委員》

医師会としては小児科にリーフレットを置いてもらったりしている。喫煙に関しては完全に害があるということで禁煙を勧めているのが現状である。

《委員》

今後の取り組みの方向性はこれでよいと思う。具体的にこれからどのように啓発していくかを決めていくのが重要。

【部会長】

本部会の見解として、方向性は事務局から示されたもので問題ないとの総意でよろしいか。今後の取り組みについては、個々詳細に意見をいただいた部分を事務局で取りまとめていただき、進捗管理をしっかり行いながら進めていただくという形でよいか。

(各委員異議なし。承認)

〈事務局〉

議題1「熊本市の子どものむし歯対策」キャッチフレーズ、目標について説明。

【部会長】

議題資料以外に3つのキャッチフレーズ案が提出された

- ① 「守ろう 未来の宝！ 始めよう 子どものフッ化物健口！」
- ② 「未来の宝を守れ！ 始めよう 子どものフッ化物健口！」
- ③ 親子で取り組む むし歯予防

資料に挙げられた意見と一緒に検討、ご意見を願います。

《委員》

「フッ素と歯みがき！ むし歯ゼロ☆」がキャッチフレーズの長さとしても良いのではないか。「健口」も良いと思うが、少し長いので一部を使うという形でもよいのではないか。

《委員》

多くの良い意見があるので、3、4つに絞って検討してはどうか。

《委員》

「むし歯ゼロ」はもう聞き飽きた感があるのではないか。「フッ化物健口」は目新しくひっきりんがあって良いと思う。

《委員》

親子で楽しくという面では「親子で楽しく！ むし歯ゼロ！」が良いのではないか。部会長からの案も「守ろう 未来の宝！」等で切るのであれば短くて良いのではないか。

《委員》

シンプルでわかりやすいものが良い。子供だけでなく親の世代の歯の健康も重要なので、「親子で楽しく むし歯ゼロ！」が良いのではないかな。

《委員》

「フッ素」と言うと劇薬のイメージがあるので「フッ化物」と言うようにしているが「フッ化物と歯みがき」となると少しリズムが悪いと思う。「親子で楽しく」を「親子で目指す」もしくは「親子で目指そう」などにしても良いのではないかな。

《委員》

今回、むし歯予防としてフッ化物洗口やフッ化物塗布を前面に出しているのだから、「フッ化物」というのを入れてもらいたい。「健口」のフレーズは、一部をサブタイトルとしたらよいのではないかな。

【部会長】

様々な意見がでており、この場でのキャッチフレーズ決定は困難なため、事務局でまとめ、いくつかに絞り直して、メール等で各意見を取りまとめお願いする。

また、目標に関しては、記載の事務局案以外に新たな提案はなかったとのこと。熊本市の実情を反映しており、事務局案でよいと考えるが、頭に「目指せ」をつけてはいかがかな。各委員のご意見をお願いします。

（各委員異議なし。「目指せ むし歯のない子ども ベスト10！」にて承認）

〈事務局〉

議題2 「第3次熊本市歯科保健基本計画の進捗状況について」説明。

《委員》

小学校では養護教諭、担任を中心として子どもたちだけでなく保護者も巻き込んだ歯みがき指導等を行っている。新型コロナの影響で、歯科医師による染め出しを用いた歯みがき指導やフッ化物洗口は取りやめになったが今年度は開始に向けて動いている。関係各所と協力して子どもの歯と口の健康づくりに努めているところ。

《委員》

8020推進員は増加しているが、高齢化で辞められる方もいる。活動を行っていく上で今後も推進員を増やす必要がある。

《委員》

学校における歯科保健指導については、コロナ禍で「染め出し」を行った歯みがき指導が

難しく、歯磨き巡回指導が行えていない。歯磨きを中止している状況も聞いていたため、歯科衛生士会で新しい生活様式に沿った指導用のDVDを作成した。学校においては、歯磨き指導の訪問の再開とあわせて、フッ化物洗口も、感染対策をとりながら行っていけるので、ぜひ進めていただきたい。

《委員》

中学、高校と学年が上がるにつれて部活動等で忙しいという理由でなかなか歯科受診をしない。学校側からも健康第一ということで受診するよう勧めてほしい。

高齢期においては短期集中予防サービスにおいて口腔機能向上の利用はまだまだ少ないと思われるが、今後の取り組みについて行政にお伺いしたい。

〈高齢福祉課〉

口腔の機能向上のために国保年金課等とも連携し一体とした実施を考えており、歯科医師会、歯科衛生士会には今後ともご協力いただきたい。

《委員》

自立支援型地域ケア会議において、熊本には27の「高齢者支援センターささえりあ」があり、歯科医師会としてそれぞれに担当の歯科医師を決め、対応できるような体制をとっているがあまり呼ばれないという現状がある。それについて行政からお聞きしたい。

〈介護保険課〉

参加者の選定は「高齢者支援センターささえりあ」へ任せているが、オーラルフレイル予防の重要性は「高齢者支援センターささえりあ」でも認識しているため、多くの歯科医師や歯科衛生士の方に参加していただいているという認識であった。今後もケアマネージャーや地域包括支援センター職員に高齢者の口腔機能に関する課題を認識していただくために研修会を計画している。

《委員》

実際の聞き取りを行う際にほとんどのケアマネージャーさんは対象者の口の中を見るのではなく、対象者の自己申告で問題ないと言われれば、本当は問題があっても問題ないとされていることがあるようだ。もう少し踏み込んで口腔の情報を聞き出して、歯科医師など専門家のアドバイスができる状況になってほしい。

フレイル予防については、後期高齢者歯科健診の受診率が非常に低いため、受診率を上げるのと、特に健康意識の高くない、本当に必要な人の受診を勧める取り組みをしていただきたい。

《委員》

示されている指標の実績値と目標値の間にはかなりの差があり実現不可能と思われるものは次回の計画の中で見直されていくものなのか。

〈事務局〉

次の国の歯科口腔保健の推進に関する基本的事項が来年公表されるため、それを勘案しながら委員の皆様方と協議の上、新たな目標は設定していきたい。

《委員》

歯周病検診の受診率が低い、その中でも要精密者率が高い点が気になる。おそらく何かしらの症状が出て受診された方が多いのではないかと推察されるが、歯周病は自覚症状が出るころにはかなり進行しているためその前段階での受診が必要。しかしこの年代は仕事が忙しくてなかなか受診に繋がらないということがあるため、企業に働きかけるなどして歯周病の早期発見に繋がるようにしてほしい。

〈事務局〉

議題3「第3次熊本市歯科保健基本計画の最終評価および次期計画策定のスケジュールについて」の資料について説明。

(意見・質問なし)

〈事務局〉

いただいたご意見を反映しながら今後の最終評価に向けて検討を重ねていく。

今回、特に子どものむし歯対策の取組の方向性について承認を得た。

本部会は市長の付属機関であるので、市長をはじめ関係各所へ報告を行う。

来年度の計画策定に向けて、部会開催等、改めて委員へ案内する。

終了